

| ＜ もくじ ＞ | |
|-----------------------------|---|
| 1. 2026年度定時総会・第25回大会開催のお知らせ | 1 |
| 2. 研究会からのお知らせ | 1 |
| 3. 各研究会の概要報告 | 2 |
| 4. 事務局からのお知らせとお願い | 4 |

1. 2026年度定時総会・第25回大会開催のお知らせ

大会シンポジウムのテーマは、「老いて働く～高齢期に働くことの意味と意義～」です。生産年齢人口が減少し、経済の回復が遅れている日本では、高齢になっても働かざるを得ない人が少なくありません。その一方で、日本人、とりわけ日本男性には、働くことが生きがいである人も多く、高齢者の就労率は先進諸国の中でも際立って高くなっています。

このシンポジウムでは、高齢者の就労の実態と課題を明らかにし、高齢期における多様な働き方の可能性をさぐりたい。高齢者就労が労働市場や経済に与える効果といったマクロな視点ではなく、働くことが個人の生活や意識にどのような効果をもたらすのかといったミクロな視点にフォーカスしたい。シンポジウムと懇親交流会はどなたでも参加いただけます。

- 1) 開催日時：2026年6月13日（土）
- 2) 時間：総会 10：30～12：00（会員のみ）
大会 13：00～16：40
- 3) 会場：早稲田大学戸山キャンパス（33号館 第1会議室）オンライン併用予定
 1. 基調講演：池口武志（当会理事、一般社団法人定年後研究所所長）
 2. パネルディスカッション
司会：袖井孝子（当学会会長）
パネリスト：
★ 森山智彦（JIL（日本労働政策・研究研修機構）研究員）
★ 藤田 徹（労働者協同組合 労協センター事業団代表理事
労働者協同組合 ワークスコープ・センター事業団代表理事）
★ 齊藤紀子（千葉商科大学人間社会学部 教授）
コメンテーター：池口武志

※ お申し込み方法や参加費、懇親会費については、次号以降にお知らせします。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第65回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年3月18日（水） 15：00～17：00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 報告者：全員で検討
- 4) 概 要：「デジタル犯罪への対策を各自で調べて報告」

※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

(2) 第114回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2026年3月19日(木) 15:00~18:00
 - 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
 - 3) テーマ：「コミュニティとアソシエーション」をベースに、新聞記事を収集・分析し、出席者全員による報告と討議を行なう。
 - 4) 参加費：300円
- ※ お問い合わせは、島村 (ken-sima1941@jcom.home.ne.jp) までお願い致します。

(3) 第66回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年3月28日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第一グループ活動室
- 3) 発表者：YNS やまぶき任意後見、アワーズ、シニア学会員
- 4) テーマ：人形劇その他
劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」
死後事務契約等の、人形劇、寸劇など行います。
劇団員募集しています。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄 (mme_masumi@yahoo.co.jp) までお願い致します。

(4) 「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

現在、当研究会では、3月21日(土)開催予定の「第10回研究会合同イベント」に向けて準備を進めております。おかげさまで本イベントは、3月2日の時点で定員に達しましたため、ご案内を締め切らせていただきました。多くの皆さまに関心をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。

当研究会は、2018年3月3日、「第4回研究会合同イベント『長命時代、しなやかに生きる力を考える』」を標題とする発足記念シンポジウムで活動を開始し、まる8年が経過、コロナ禍においても休むことなく開催を続け、次回の研究会で通算70回を迎えます。次回研究会の開催時期につきましては、改めてご案内いたします。今後とも当研究会をどうぞよろしく願い申し上げます。

※ ご連絡・ご質問は、中村昌子 (nakamurayoshiko6@gmail.com) までお願いいたします。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第113回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2026年2月19日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：「コミュニティとアソシエーション」という概念から、現実の社会を分析する
- 4) 発表者：本田 恭助、大下 勝巳、島村 健次郎

本田さんは「考察：コミュニティ関係が希薄な高齢化する『自宅マンション』住民間の繋がりづくり」のテーマで配付資料により発表。コミュニティをいきなり目指すのではなく、アソシエーションを入り口にして、結果として顔が見える関係を作るという方策が出来ないか。まずは関わりが強すぎてストレスにならないよう「弱い紐帯を目指す!」と述べられた。

大下さんは、「コミュニティとアソシエーションの機能と役割」のテーマで配付資料により発表。当面の課題としてコミュニティが衰退気味であることを位置づけ、その対応策として相互連携を挙げた。①地域社会はコミュニティを基盤にアソシエーション活動を行うという二重底の地域構造になれば、より一層の活動と効果が期待できる。②暴風・豪雨・地震など自然災害時におけるコミュニティの役割は重大であり、平時から備えることが大切であると結ばれた。

島村さんは、『『コミュニティ学のススメ』誌の中に見る、濱口先生のキーワードをベースに、コミュニティの現実の社会との関連を考察する』のテーマで配付資料により発表。人生はコミュニティとの関わりなしでは生きていけないと思うと語った。

濱口座長はコメントとして、研究会はコミュニティとアソシエーションという基本概念について多種多様な事例を取り上げ、繰り返し結合の基本類型の有効性を検証してきた。この事実はコミュニティとアソシエーションを論議する研究会の実績として考えると、稀有のことではないだろうかと述べられた。

(島村健次郎 記)

(2) 第64回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時：2026年2月25日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所：Zoom 開催
- 3) 報告者：全員
- 4) テーマ：「八巻さん担当講座の内容について(各自宿題持ち寄り)」
- 5) 概 要：気を付けて！シニアがターゲットのデジタル犯罪

【ニセ警察詐欺】デジタル犯罪最新事例

自宅の固定電話や携帯電話あてに、警察官を名乗り、「あなたの口座が犯罪に使われている」「あなたの携帯電話が不正に契約された」などと様々な理由をつけて、「資産を保護する」「口座を調査する」などといって、現金をだましとったり、振り込ませたりする詐欺の手口が増加している。

★こんなことは絶対ありません

- ・警察官が、電話で捜査対象となっているなどと伝えること
- ・メッセージアプリで連絡をすること
- ・警察手帳や逮捕状の画像を送ること
- ・個人のスマートフォンに突然ビデオ電話をすること

【社長を騙るメールやLINEにご注意】怪しいメールの実例

実在する社長や役員の名前でメールが届き、業務上の必要性でLINE グループの作成を指示され、LINE グループのQR コードを返信する→ニセ社長の指示で経理担当者が、口座情報を送付したり、別の会社に振り込みを実施

★対策

- ・社長から普段と異なる方法で送金の指示があった場合は、メールやLINE 以外の方法で確認する
- (森やす子 記)

(3) 第178回「社会保障」研究会の報告要旨

- 1) 日 時：2026年2月25日(水) 18:00~20:10
- 2) 報告者：佐藤清和(厚労省老健局地域づくり推進室・室長補佐)
- 3) テーマ：「介護予防・日常生活支援総合事業について」
- 4) 参加人数：15名

介護予防は2005年の介護保険法改正で取り入れられた。その内容は、要支援者を対象とする訪問・通所事業に加えて、一般高齢者を対象にした介護予防事業を行うものである。さらに2014年の改正では、身体能力(ADL)は自立しているが日常生活動作能力(IADL)が衰えて虚弱(frail)になり、やがて要介護になることを防ぐために、生きがいや社会参加を推進する地域づくりが目指されるようになり、日常生活支援総合事業(以下、総合事業)が開始されることになった。総合事業では、市町村が主体となり、高齢者も社会の支えてとして位置づけられる。

総合事業には、要支援者を対象とする訪問・通所・配食サービスと65歳以上を対象とする一介護予防事業があり、前者は全国一律であるが、後者は市町村による独自の事業である。しかし、市町村にのみ頼ることの限界が明らかになり、2024年の検討会では、市町村が中心になってボラ

ンティア団体、NPO、民間企業などの多様な主体と連携し、要介護になっても地域とのつながりを維持し続けることの必要性が確認された。地域にある多様な資源を調整し、要介護になっても安心して暮らし続けられる地域づくりを実現するのが生活支援コーディネーターの役割である。

参加者からは、生活支援コーディネーターの役割や位置づけの曖昧さが指摘された。また、介護保険サービスを受ける高齢者と総合事業に主体として関わる高齢者ではまったく違っており、両者を同一に扱うことはできないとの指摘があった。総合事業については、どのくらい介護予防に役立っているのかという成果を明らかにしてほしいという要望があった。

(袖井孝子 記)

(4) 第65回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2026年2月28日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所：品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：人形劇、その他

(鈴木眞澄 記)

4. 事務局からのお知らせとお願い

< 会員情報変更時のご連絡のお願い >

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報(氏名・住所・メールアドレス等)に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

< 2026年4月 JAAS News の発行日 >

次回JAAS News 第320号の発行日は、2026年4月15日(水)です。原稿をお寄せ下さる方は、4月10日(金)までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

JAAS News 編集長 松島悦子

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>